

会社名: コダック株式会社
担当部門: ドキュメントイメージング アンド ビジネスプロセスサービス事業部
所在地: 東京都千代田区神田駿河台 2-9 研究社ビル (〒101-0062)
電話番号: 03(5577)1380 FAX: 03(5577)1333

緊急連絡先: (財)日本中毒情報センター【中毒 110 番】
(事故に伴い急性中毒の恐れのある場合に限る)
9時から17時まで: 0990(52)9899 (ダイヤル Q2 有料)
又はダイヤル Q2 を利用できない医療施設の場合は 0298(51)9999
これ以外の時間帯: 0990(50)2499 (ダイヤル Q2 有料)
又はダイヤル Q2 を利用できない医療施設の場合は 06(6878)1232

MSDS No. 200000385/F/USA/JP

承認日: 2001年1月16日

作成日: 2002年4月1日

1 製品名

コダック プロスター プラス デベロッパー

CAT No. 102 2490

1 ガロン用

原産国: アメリカ合衆国

2 物質の特定

混合物

成分	重量%	CAS No.	PRTR 政令番号
水	85-90	7732-18-5	
亜硫酸カリウム	1-5	10117-38-1	
亜硫酸ナトリウム	1-5	7757-83-7	
ヒドロキノン	3	123-31-9	第一種 254 号
炭酸カリウム	<1	584-08-7	
4-ヒドロキシメチル 4-4 メチル-1-フェニル -3-ピラゾリジノン	<1	13047-13-7	

3 危険・有害性の分類

危険 : ヒドロキノン含有。皮膚と眼に炎症を起こすことがある。また、皮膚にアレルギー反応を起こすことがあるので注意が必要。

4 応急措置

吸入した場合 : 症状が出たら、空気の新鮮な場所へ移動する。続くなら、医療手当てを受ける。
眼に入った場合 : 直ちに清浄な水で 15 分以上洗浄する。症状が出たら、医療手当てを受ける。
皮膚に付着した場合 : 直ちに汚染した衣服、靴を脱ぎ 15 分以上洗浄する。皮膚に炎症やアレルギー反応が生じたら医療手当てを受ける。汚染した衣服は再利用の前に洗う。汚染した靴は破棄するか徹底的に洗う。
誤飲した場合 : 必ず専門家の指示に従い、吐き出させる。意識を失った人には、何も飲ませない。速やかに内科医または毒物管理センターに連絡する。

5 | 火災時の措置

消火手段 : 周辺の火災に対し、適切な薬剤を使用する。
 火災時の特別対応手段 : 呼吸用保護具と保護衣を着用する。火災や過度の熱により危険分解物質を生じる可能性がある。
 製品の燃焼の危険性 : なし。(非可燃性)(製品分析の危険性の項を参照)
 異常火災/爆発の危険性 : なし

6 | 漏出時の措置

多量の水と共に下水に流す。または、パーミユライトまたは不活性物質に吸収させ、化学物質廃棄用の容器に回収する。残留汚物を取り除くために表面を清掃する。

7 | 取扱い及び保管上の注意

取扱い : 眼、皮膚、衣服への付着を避ける。換気のよい場所で取り扱う。取扱後はよく洗う。日常の取扱には、非アルカリタイプのハンドクリーナーを使用する。作業場を清潔に保ち、手袋の着用により皮膚への付着を最小限にする。
 火災や爆発の防止 : 特別な予防の措置はないが、危険でない状況での使用をすべきである。
 保管 : 密栓して保管する。配合禁忌の物質に近づけない。(配合禁忌の項を参照)

8 | 暴露防止措置

許容濃度 : ACGIH (TVL)
 ヒドロキノン : 2mg/m³ TWA
 OSHA (PEL-1971 Table Z-1 Values)
 ヒドロキノン : 2mg/m³ TWA
 換気 : 一般的に換気のよい場所で取り扱う。(10 air changes/時間)。換気の時間は環境に合わせる事。
 呼吸器の保護 : 必要なし。危険な分解製品が存在、放出される可能性がある場合、人工呼吸器の着用が望ましい。
 人工呼吸器の種類 : 酸性のガス。危険性情報(安定性・反応性)の項を参照。
 眼の保護 : 産業衛生学上、眼への付着を最小にする。側板付き眼鏡(ゴーグル)を着用。
 皮膚の保護 : 長時間、または何度も操作する場合、皮膚への付着の可能性があるので、不浸透性の手袋を着用する。
 浄化する設備 : 洗眼機、身体洗浄の設備(安全シャワー)を推奨する。

9 | 物理・化学特性

外観 : 液体
 色 : 薄黄
 臭気 : 無臭
 沸点 : >100°C
 蒸気圧 : 24mbar (18mmHg) / 20°C
 蒸気密度(空気 = 1) : 0.6
 揮発留分(重量) : 87%
 比重(水 = 1) : 1.10
 水溶性 : 完全
 pH : 10.6
 引火点 : なし(不燃性液体)

10 危険性情報(安定性・反応性)

安定性 : 安定
 不適合物質 : 強酸
 危険分解物質 : 硫黄酸化物
 危険重合物質 : 発生しないと予測される。

11 有害性情報(暴露の影響)

ヒドロキノン含有。ラットおよびマウスに対する経口摂取テスト結果から、EU ではヒドロキノンはカテゴリー3(適当な動物試験からある程度の証拠はあるが、カテゴリー2に入れるには不十分な物質)に分類される。カテゴリー3とは、1%濃度以上でリスク段階 R40(元に戻らない影響がある)を引き起こす可能性を持つクラスである。IRAC では、ヒドロキノングループ 3(人に対する発がん性については、分類出来ない)に分類している。危険を回避するため、妊婦や授乳中の婦人には近づけないよう管理することが望ましい。

吸入 : 熟練者による通常の取扱いでは、危険性は少ないと予想される。強い酸や熱を加えた場合、亜硫酸塩が二酸化硫黄ガスを放出することがある。二酸化硫黄ガスは、呼吸器官に炎症を起こす。喘息患者や過敏症の者が、呼吸困難に陥ることがある。

眼 : 炎症を起こすことがある。

皮膚 : 炎症を起こすことがある。皮膚にアレルギー反応、脱色を起こすことがある。

誤飲 : 喘息患者または亜硫酸塩に過敏な人が、呼吸困難、胸の痛み、吐き気、発疹、めまい、下痢を起こすことがある。

12 環境影響情報

毒性

魚 LC50mg/l : 1-10
 水生物 EC50mg/l : 1-10
 海藻 IC50ml/l : 10-100
 有機物分解 (>70%) : あり(7日)

化学および
 生化学的酸素要求量 : <1
 COD(g/l) : 79
 BOD5(g/l) : 49

潜在的毒性
 廃棄物処理用微生物
 EC50mg/l : >100

13 廃棄時の注意

特別管理産業廃棄物には該当しない。
 自社で廃水処理設備を所有していない場合には、全量を回収した上で、専門の廃液処理業者に委託して処理する。

廃棄時に該当する法規

化学物質管理促進法(PRTR 法)
 廃棄物処理法 : 産業廃棄物(廃アルカリ)
 水質汚濁防止法 : 生活環境項目
 下水道法 : 下水の排除の制限

14 | 輸送上の注意

Air Transportation

Class	:	-----
UN-No.	:	-----
Proper Shipping Name	:	-----
Subsidiary risk	:	-----
Packaging group	:	-----
Passenger aircraft	:	-----
Cargo aircraft only	:	-----
Further information	:	-----

15 | 適用法令

下記参照。

化学物質管理促進法 (PRTR 法)	:	ヒドロキノン
毒物劇物取締法 (毒劇法)	:	-----
労働安全衛生法 (安衛法)	:	-----
消防法危険物分類 (消防法)	:	-----

発がん物質分類 (含有率 0.1%以上含むもの)

IARC	:	なし
ACGIH	:	なし
NTP	:	なし
OSHA	:	なし

16 | その他

危険・有害性の評価は必ずしも十分ではないので、上記の内容は補足の情報と見なし、取り扱いには十分注意して下さい。